

一般質問



古庄 信一郎 議員

大災害時のアスベスト対策は

答弁／速やかに対応する

古庄 東日本大震災から3年。大震災におけるアスベスト問題も大変な問題で、各課報告では町公共施設69のアスベスト調査の結果、少し問題があるのは鏡共同利用施設だけだがどう対応するのか。

町長 年に一度測定をしているが、耐震調査後検討する。

古庄 大震災時のアスベストは建物の倒壊飛散、震災後の復旧復興へ関わる人への影響他、大変な問題だ。

国の方から災害時におけるアスベスト飛散防止に係る取り扱いマニュアルが来ているが。

社会教育課長 把握していない。

古庄 公的な施設でなく民間の建物でも倒壊時アスベストの危険性が及ぶ建物は、全国に280万棟もある。

国も各自治体に調査と把握を要請してくる。

これらに対応するマニュアルを作るべきだ。

町長 速やかに対応する。



鏡公民館

地域包括ケアシステム構築は

答弁／できるだけ早く構築

古庄 高齢者が住みなれた地域で最後まで生活できる「地域包括ケアシステム」の構築が自治体に義務付けられており市町村の力が判断される。

厚労省はこのシステム構築のスケジュールと市町村がやることを策定している。これに沿って今後展開するのか。

町長 承知していないが、できるだけ早くと思っている。

古庄 ケア会議に地域の代表である町内会長も加えるべき。

福祉課長 今後検討する。

古庄 昨年結成された志免西地域協働ネットワークは大変素晴らしい、ケアシステムの縮図だが、医師会及び全町の医療施設との調整、未実施地区とのバランス他課題もあり、どう認識しているのか。

福祉課長 医療機関が一つと、地域が3町内会だけが課題。

古庄 ケアシステム構築の主体性はあくまでも町が持ち、全てをコーディネートすべき。

町長 全町の計画も必要だが、現時点では一つのモデルケースとして見守りたい。